



## 岡山大学との産学連携で、 豊島本来の植生回復を目指す

NGPは5月30・31日の2日間、香川県豊島で環境保全・再生活動を実施しました。第15回目となる今回は、前回に続き「岡山大学大学院環境生命科学研究科の嶋教授との産学連携による豊島植生回復活動」と「柚の浜の荒廃地整備」、「見学道の整備」、「不法投棄現場見学」を行いました。今回は組合内で持続可能な社会の実現に向けた活動の輪を広げることを目的として、組合員会社の従業員に幅広く呼びかけ、総勢25名が参加しました。

### 岡山大学との産学連携による 植生回復活動

前回2024年2月、豊島に元々自生している植物の種子を島内の研究区画に撒き、成長過程を観察していく作業を岡山大学と共同で行いました。

今回は、前回作業した場所の植生を促すとともに、その範囲を広げるため、枯れた松の木と雑草を除去しました。雑草等を除去した場所には前回と同様に「表土撒き出し法」を行い、1年目に種子を撒いた場所、2年目、3年目に種子を撒いた場所と、植

生回復の経過が分かるようにしていく予定です。

また、研究区画内に植えたコバノミツバツツジにたい肥を撒く作業も行いました。コバノミツバツツジは豊島に自生するツツジですが、非常に弱いため、岡山大学で植生回復の一環として種から苗木へと育成し、その苗木を1年間、地元の小・中学校に預けて毎日水やりをしてもらい、植樹する活動を行っています。

### 産廃処分地展望台の整備

産廃処分地の近くには現場を見下ろせる展望台があり、見学コースにもなっていることから多くの方が訪れます。今回は、展望台からの視界を妨げている雑草の除去と、展望台上るまでの階段横の整備を行いました。階段横は今後も整備を続け豊島に自生している植物を植えることを予定しています。

### 「柚の浜」荒廃地整備

2023年4月に荒廃地の整備をした場所に、松の木が育ち始めていました。瀬戸内

オリーブ基金の事務局から、この松の木を「柚の浜」の海岸とオリーブ畑の間に移植し、防砂林として活用する相談を受けたため、今回はその準備として成長途中の松の木の周りの雑草を除去しました。

### 不法投棄現場見学

初参加のメンバー7名に「豊島事件」の歴史とNGP環境保全・再生活動の意義を正しく理解してもらうため、見学会を開催しました。不法投棄していた業者の元事務所を活用した「豊島のこころ資料館」では、廃棄物対策豊島住民会議の安岐正三事務局長より「豊島事件」当時の悲惨な状況などについての説明を聞き、その歴史と不法投棄現場の現況について学びました。

豊島で起きた不法投棄事件は、発生から約40年経った今でも終わっていません。NGPは今後も瀬戸内オリーブ基金、岡山大学と協力して、「豊島事件」の悲劇を二度と繰り返さないために環境保全・再生活動と3Rの大切さを後世に伝える活動に取り組んでまいります。



研究区画の枯れた松を除去



研究区画内に植えたコバノミツバツツジの周りの雑草を除去して、たい肥を撒く



展望台に続く階段横の整備



「柚の浜」の整備作業



豊島のこころ資料館で豊島事件の闘いの歴史について学ぶ



NGPは今後も環境保全・再生活動に取り組んでまいります

## NGP、中学生の企業訪問学習に協力

# 自動車リサイクルの取り組み、資源リサイクルの重要性を伝える

NGP協同組合は6月5日、SDGsについて学習することを目的とした豊田市立藤岡南中学校（愛知県豊田市）3年生4名の企業訪問を受け入れました。

企業訪問学習では、まず、NGPの事業内容やSDGsへの取り組みの全体像について動画を交えて紹介し、工場見学動画で自動車リサイクルの一連の流れを楽しく学んだ後、廃車の部品の実物を見ながら、解体や素材ごとの分別について学びました。これにより、自動車リサイクルの一連の流れを理解してもらうだけでなく、素材ごとの徹底的な分別による資源リサイクルの大切さについて、体験を通して伝えることができました。

その後、香川県豊島の環境保全・再生活動やNGPアップサイクルプロジェクトなどの具体的な取り組みについての動画を交えながら、SDGs宣言・目標、NGP SDGsモデルの考え方を伝えました。自動車リサ

イクルを通じた廃棄物抑制や持続可能な資源利用、アップサイクルの概念はもちろんのこと、NGPのSDGsに対する想いを知ってもらうきっかけにもなりました。

中学生からは、「バックミラーなどのガラス製品はどのようにリサイクルされているのか?」、「リサイクルする時に出る熱をどのように利用しているのか?」、「リユース、リサイクルできなかった部品はどうなるのか?」といった質問があり、関心の高

さがうかがえました。また、NGPを訪問先に選んだ理由について、「学校でSDGsの17の目標の中から地域に必要なものを掘り下げる中で、豊島での活動を行っているNGPに興味を持った」と教えてくれました。

NGPは、引き続き自動車リサイクル事業を通じて、これからの時代を担う子どもたちへの教育支援活動に取り組んでまいります。



NGPの取り組みをスライドで説明



一生懸命にメモを取る様子

## 整備事業者の先進技術対応を支援

# 国交省、令和6年度スキャンツール補助事業の受付を7月30日から開始

国土交通省は、自動車整備技術の高度化を図り、自動車の事故防止を推進することを目的として、整備事業者に対するスキャンツールの導入等を支援する補助事業を開始することを発表しました。同事業の概要は次の通りです。

### 1. 申請期間

2024年7月30日10:00～2025年1月31日17:00

※先着順・予算がなくなり次第終了。

### 2. 補助対象事業者

自動車整備事業者

※電子制御装置の認証を受けていない事業者にとっては、今後認証を申請予定である者に限る。

### 3. 補助概要

(1) 一定の要件を満たすスキャンツール（構成部品であるPC等を含む）を購入する経

費の一部を補助（補助率：1/3、1事業場当たりの補助上限額：15万円）

(2) スキャンツール活用のための研修の受講費の一部を補助（補助率：1/3、1事業場当たりの補助上限額：1万円）

※2024年4月1日以降にスキャンツール等を購入または研修を受講した費用が補助

対象となる。

### 4. 問い合わせ先

TOPPAN（補助事務執行団体）

ホームページ：https://hogo-zoushin.jp/

コールセンター：03-4330-3791

（9～18時 平日のみ）

## NGP 今月のCO<sub>2</sub>削減量



リユース部品利用に伴うCO<sub>2</sub>削減量

令和6年5月：**1,945t**



リターナブル梱包材利用に伴うCO<sub>2</sub>削減量

令和6年5月：**0.5t**

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90品目（左右ある部品をきむと115品目）を対象に算出した数値です。

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO<sub>2</sub>排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

## NGP組合員 かわら版

### 第33回基礎研修会を開催 NGPの基本理念を体得



修了式であいさつする小林信夫理事長

NGP協同組合は6月11～13日の3日間、BumB東京スポーツ文化館（東京都江東区）で第33回基礎研修会を開催しました。

基礎研修会とは、三大信条をはじめとしたNGPの基本理念をしっかりと体得するための研修です。3日目の修了式で登壇した小林信夫理事長は「時代に合わせてNGPは変化しており、研修のやり方も変化してきました。ただし、その中にもあっても変えてはいけないことがあります。それはNGP三大信条をしっかりと学ぶことです。学ぶというのは、ただ暗記することではありません。三大信条を行動に落とし込むことが重要であり、基礎研修はそのための時間です。この3日間で学んだことを活かして、自信を持ってこれからの業務に取り組んでください」と、研修を終えた受講生たちに呼び

かけました。

その後の決意表明で、(有)サン・アールの佐林卓さんは「NGPマンとしての心得を忘れずに、いつも笑顔を絶やさずに会社を引っ張っていきます」と、自身の成長を会社の発展につなげていく姿勢を強調しました。

3日間の研修を終え、(株)ハセ川自動車の松岡祐樹さんは「この3日間、最初は不安な気持ちもありましたが、仲間の皆と話し合い、班長としての動きを客観的に見ることができ、とても良い経験ができたと感じました。研修目的である“自分を変える”と言うことに対して、変化を感じることができた3日間でした。この研修を活かし、日々の業務に取り組んでいきたいと思いを、自分自身の変化を実感していました。



研修では行動と気持ちを「合わせる」ことの重要性を学んだ



修了式の様子

### 第35回中級研修会及び自動車技術研修会を開催 管理者に求められる役割と責任を学ぶ

第35回中級研修会が6月17日～19日の3日間、自動車技術研修会が19日～21日の3日間、いずれも(株)あいおいニッセイ同和自動車研究所・東富士センター（静岡県裾野市）で開催されました。

中級研修は、基礎研修会及び初級研修会を修了した、NGPの中核となる実務者向けの研修会です。部門ごとの専門講義のほか、管理者としての役割やリーダーシップについて学ぶ共通講義を受講し

ます。一方、自動車技術研修会は、実車を用いて最新のハイブリッドシステム等の構造について学ぶことができるものです。なおこの2つの研修は、連続して参加することも可能なスケジュールで実施されました。

3日間の中級研修を終え、(有)ポプラの富川亜樹さんは「部下との信頼関係を築き、会社から任せられた業務に対し、リーダーシップを発揮して責任を果たします」と、所属部署のメンバーとの信頼

関係を深めることで、社業の発展に貢献する決意を表明しています。

(株)辻商会の吉田一也さんは「講義以外の時間で、同じ班の方に各社での管理者としての困りごとや悩みを聞かせてもらい、また私の抱えている問題や悩みを聞いてもらいました。同じ立場として分かりあえる仲間と出会える有意義な時間となりました」と、講義だけではなく、NGPの仲間との交流からも多くの学びを得ていました。

#### 組合員情報変更

支部	会社名	変更内容	変更後	変更日
九州	株式会社グッパー福岡	会社代表	代表取締役 山本 実	2024年5月27日

#### NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0075 東京都港区港南2-12-32 サウスポート品川4F  
TEL:03-6705-1208 FAX:03-6705-1209  
<https://www.ngp.gr.jp/>

#### 株式会社NGP

〒108-0075 東京都港区港南2-12-32 サウスポート品川4F  
TEL:03-6705-1212 FAX:03-6705-1201  
<https://www.ngp.co.jp/>